

# 農協だより

平成28年11月発行



## 「牧草ロール de どーもくん」

NHK帯広は今年11月で開局80周年を迎えました。地域の視聴者に知っていただく取組みとして、十勝の農協青年部が協力し「どーもくん」のステッカーを貼った牧草ロールを直売所『ベジタ』横に展示しています。写真は青年部員の記念撮影にたまたまお散歩に来ていた、かわいい保育所のお友達も一緒に参加してくれました！

## 主な内容

- ★農協法公布記念日にあたって…………… P 2
- ★牛乳生産状況表…………… P 3
- ★J A 忠類酪農部会 学習会開催  
「より良質な粗飼料生産へのご提案」…………… P 4
- ★J A 忠類青年部活動報告  
農薬空き容器回収…………… P 4
- ★J A グループ通信…………… P 5
- ★準中型自動車・準中型免許が新設…………… P 6～7

## 農協法公布記念日にあたって

平成二十八年十一月十九日

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で六十九年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、組合員・役職員の皆様と改めて協同組合の原点に立ち返り、その意義と役割についての共通認識

ですが、協同組合にはそのようなリスクを回避あるいは分担できる安全保障機能のあることを再認識すべきと考えます。

つぎに協同組合の社会的意義としては、協同の力で共存同業の理想社会を築き上げて行くところにあります。社会が悪い、経済の仕組みが悪いと嘆くだけでは通用しない組織です。むしろ私たちの協同活動で、その悪い社会や経済の仕組みを改良して行くのだ、という理想感、責任感に燃えて、『万人は一人のために一人は万人のために』全力を尽くして行くのでなければならぬと考えます。つまり、協同組合の目指すところは、安全かつ平和な公正社会の実現です。しかし、そのような理想を実現するには、協同の利益とその公平な分配に満足する心の改革が伴わなければならないと思います。協同組合学習とはそうした心の改革をするための研鑽と修業することに外ならないのです。

組合員の皆様には日常の営農と生活の協同活動および協同組合学習を通じ、協同組合の経済的社会的意義と組合員の役割について今一度熟考して頂ければ有難いと思います。協同組合の組合員であることに誇りと自負が持てる組合員でありたいものです。

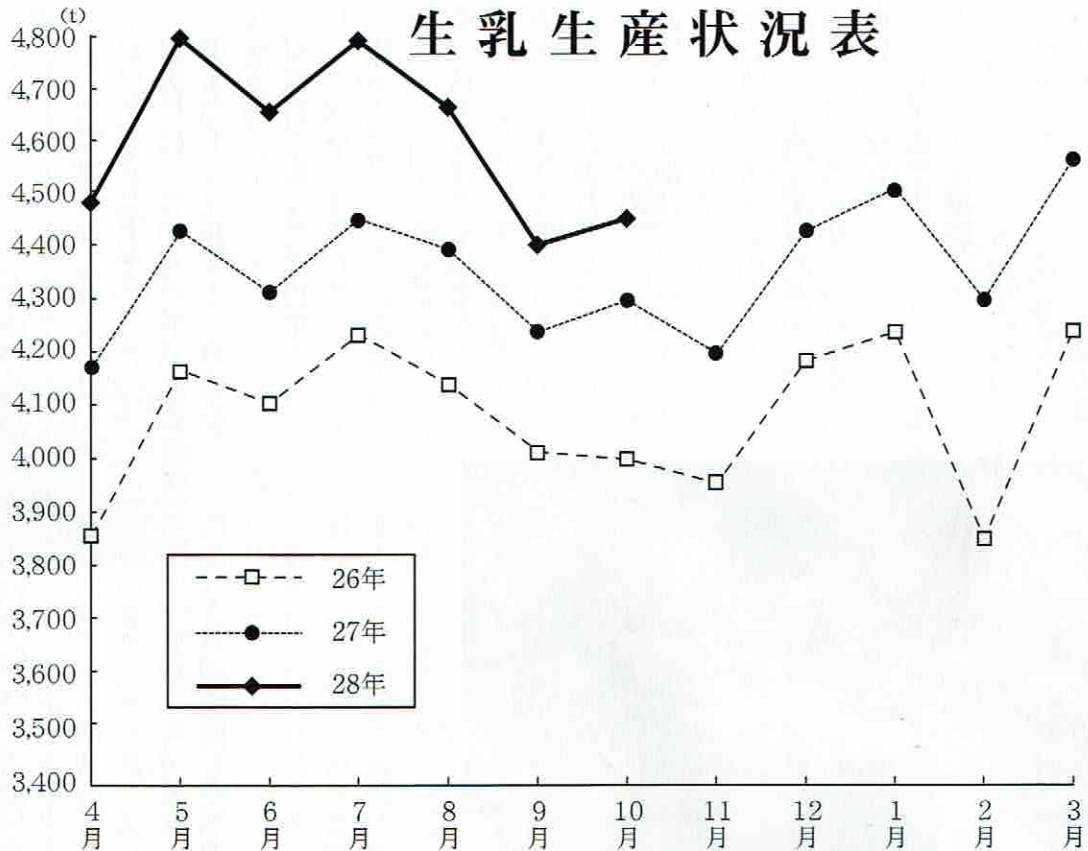
役職員の皆様は、協同組合運動の率先垂範者として、誰よりもJAの運営原則である協同組合理念につい

て正しい理解と深い洞察がなければならぬと考えます。

協同組合を深く理解する近道は、農協の歴史を知ることです。農協には先人が編纂して頂いた記念誌があると思います。入植の歴史、冷害害との格闘の歴史、経営危機あるいは成功、目覚ましい成果等、現代の私たちが知ることができない史実が記述されております。そのような危機等を先人はどのようにして乗り越えて来たのか、我が農協の歴史が全て教えてくれます。

役職員の皆様には何よりもまず歴史を学ぶことの重要性を認識して頂き、協同組合の価値を伝える語り部となつて頂きたいと思っております。新自由主義経済への対抗軸としての協同組合の価値を広く道民に発信し続け、理解と共感を得ることが、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと引き継がれ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

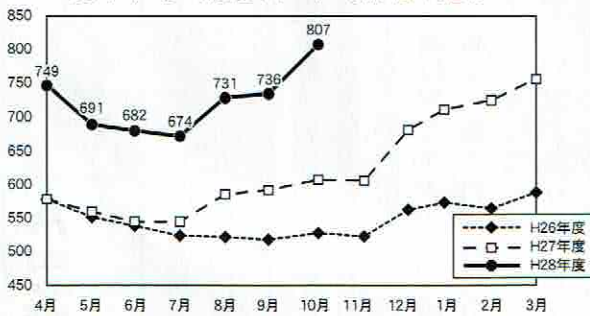
最後になりますが、未曾有の台風災害を被り、復旧は始まったばかりであります。今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様から希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業と農協の発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



## ホクレン十勝家畜市場だより

### 〔乳 牛〕

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



- 売買頭数：789頭 (成立92.6%)
- 平均価格(税込)：807千円 (先月比71↑、前年比197↑)
- ～相場予想～

先月の平均価格は、府県、道内ともに購買意欲が非常に高く、強含みで推移しました。

今月も引き続き購買意欲が高く、平均価格は強含みで推移すると考えられます。

### 〔黒毛和種・F1〕

～結果速報～

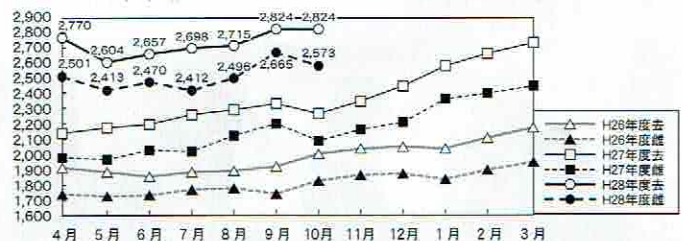
#### ○ 売買頭数

- 黒毛和種去勢：831頭 (成立93.7%)
- 乳用交雑種去勢：1,206頭 (成立96.3%)
- 黒毛和種雌：570頭 (成立95.0%)
- 乳用交雑種雌：1,249頭 (成立97.7%)

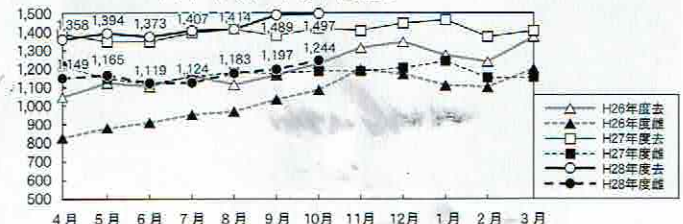
#### ○ kg単価

- 黒毛和種去勢：2,824円 (先月比0→)
- 乳用交雑種去勢：1,497円 (先月比8↑)
- 黒毛和種雌：2,573円 (先月比92↓)
- 乳用交雑種雌：1,244円 (先月比47↑)

肉牛市場(黒毛和種251-300kg)kg単価推移



肉牛市場(F1)kg単価推移



# J A 忠類酪農部会 学習会開催

## 「より良質な粗飼料生産へのご提案」

J A 忠類酪農部会は十一月十七日に学習会を開催致しました。講師には、雪印種苗株式会社営業本部トータルサポート室の佐藤尚親氏をお招きし、『良質な粗飼料生産へのご提案』と題してご講演頂きました。

講演の中では、マメ科牧草（アカクローバー）の追播についてや、植生改善や草地更新方法の新しいマニュアルの説明、オーチャードグラスの活用方法を中心に説明がありました。特にオーチャードグラスの活用については、一定割合の草地を3回刈りすることで今年のような気象不良時のリスク分散を図ることが出来る等、収穫体系も含めて来年以降の良質な粗飼料生産に向けてご提案頂きました。

また平成三十一年に供給開始となる高糖含量のオーチャードグラス『えさじまん』についても紹介がありました。

酪農部会では、導入事例や優良事例を交えての説明で非常に分かりやすく、今後の粗飼料生



今後の粗飼料生産に向けて充実した良い学習会となりました。

産に向けて良い学習会となったとの意見が多くありました。また、質疑応答でも多くの質問がなされ、充実した学習会となりました。

今後もこのような学習会を開催していきたいと考えておりますので多くの部会員の参加をお待ちしております。

J A 忠類青年部（部長黒坂宏哉）は十二月九日に（金）に農薬空き容器回収を実施しました。

農薬空き容器回収は年に一度環境改善整備として行われており、十名の部員が集まりました。

当日はプラスチック、段ボール、ビン、缶それぞれに分別をして、今年はずの降る悪天候の中での回収となりましたが、無事午前中に終わらせることができました。

農薬空き容器回収後は場所を移し、このみ食堂にて昼食をとりながら今年の反省や来年の抱負等気軽に話し合いました。

また、日頃、わからないことなどについても話し合ったりするなど、青年部らしい姿が見受けられました。

今回、回収にご協力いただきました農事組合長並びに組合員の皆様ありがとうございました。

今後も年に一回、農薬空き容器の回収を実施していきたいと考えていますので今後もご協力をお願い致します。



雪が降る、悪天候の中での回収となりましたが、無事分別することができました。



# J A 忠類青年部活動報告

## 農薬空き容器回収

# J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトををご覧ください。

## J A北海道中央会

7月に公開したスマートフォンアプリ「JA2MP」のダウンロード数が5000件を突破しました。

J Aが登録するチェックインスポットの数は約1200件。地域によっては地元食材を使う飲食店を登録するなど、工夫を凝らしております。

北海道の農畜産物が当たるプレゼントキャンペーンも実施中。チェックインスポットを回って集めたポイントを利用してぜひご応募ください。詳細はアプリ内お知らせに記載しております。

※第1弾の応募期間は年内12月31日までです。



## J A北海道信連

度重なる台風の上陸・接近により道内各地で甚大な農業被害が発生し、8月16日から9月1日の期間の災害が激甚災害に指定されました。

北海道農業信用基金協会と協調のうえ災害復旧および再生産に向けて、農業者への資金供給に取り組むこととし、今般の農業災害に対応するJ A農業経営緊急支援資金の本年度貸付分について、①貸出条件の拡充、②借入れ利息の5年間無利子化、③保証料負担の軽減を実施します。



## ホクレン

皆様へ感謝の気持ちを込め「ホクレンパールライス ファン感謝祭2016」を石狩市のホクレンパールライス工場で開催。「ごちそう新米ふるまいコーナー」や、「米俵1俵争奪 大ジヤンケン大会」など、多彩なイベントで来場者に楽しんでいただきました。入場料は全額を石狩市に寄付、子育て支援や幼児教育等次世代育成事業などに活用されます。



## J A共済連北海道

10月よりJ A自動車共済加入者向けスマホアプリ「JA共済くるまのミカタ」が新登場。

緊急時にGPS機能によるレッカー・ロードサービスの要請(※)やトラブル時の画像送信も可能になります。位置情報が確認可能なことで、事故受付もスムーズに。詳しくは、「くるまのミカタ」で検索をお願いします。

(※) 交通事情、気象状況等やご利用の地域により一部サービスの提供が出来ない場合があります。



## J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様のご命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非ご一読ください。



もっと詳しく！！

◆ 3月11日まで普通免許を取得された方

現 行 ・ 免 許 区 分

車両総重量・・・5t未満  
最大積載量・・・3t未満  
乗車定員・・・10人以下



次回免許更新時  
免許表記名変更  
表記：準中型(5t限定)

今後の取得免許の教習時限数

中型免許・・・11時限  
(20歳以上、運転経験2年以上)

大型免許・・・26時限  
(21歳以上、運転経験3年以上)

◆ 3月12日以降に普通免許を取得された方

新 ・ 免 許 区 分

車両総重量・・・3.5t未満  
最大積載量・・・2t未満  
乗車定員・・・10人以下



次回免許更新時  
表記名変更なし  
表記：普通

今後の取得免許の教習時限数

中型免許・・・15時限  
(20歳以上、運転経験2年以上)

大型免許・・・30時限  
(21歳以上、運転経験3年以上)

◆ 3月12日以降に準中型免許を取得される方 (18歳から取得可能)

準 中 型 免 許

車両総重量・・・7.5t未満  
最大積載量・・・4.5t未満  
乗車定員・・・10人以下



● 教習時限数 (所持免許)

免許なし・・・41時限

普通免許・・・13時限

● 限定解除 教習時限数 (所持免許)

5トン限定準中型(MT)・・・4時限

準中型免許取得後

中型免許・・・9時限  
(20歳以上、運転経験2年以上)

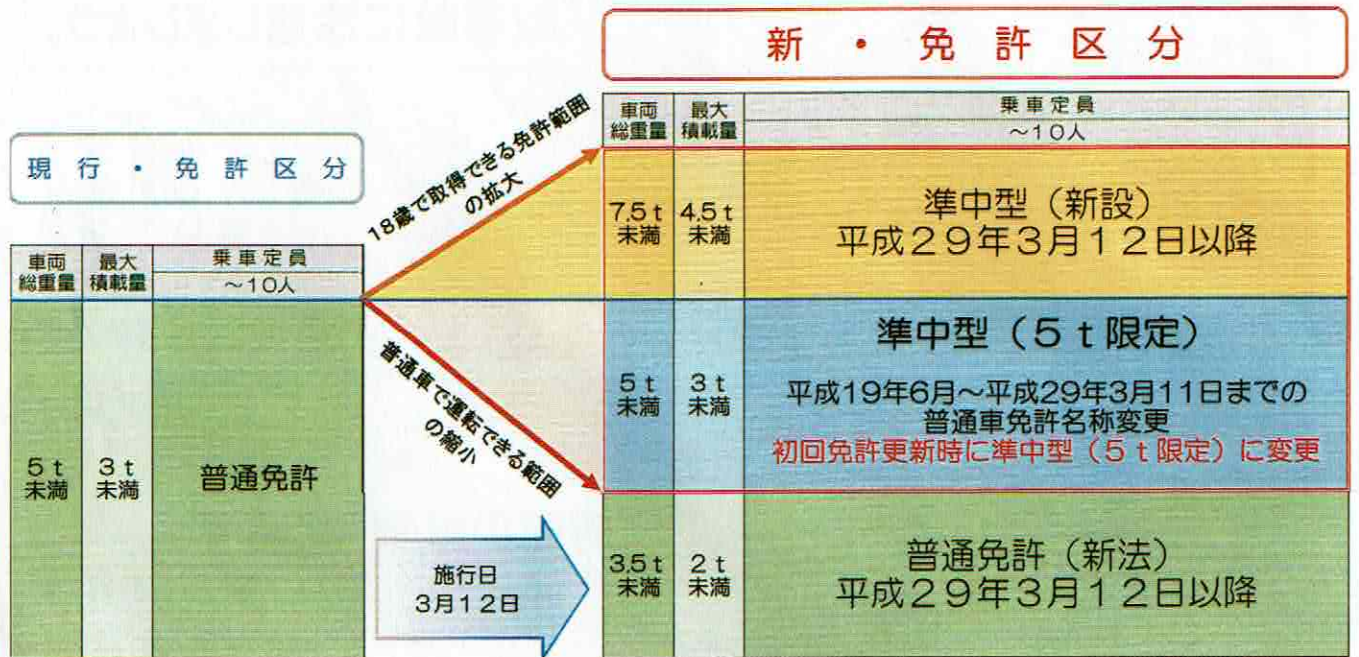
大型免許・・・23時限  
(21歳以上、運転経験3年以上)

※今後の取得免許(大型・中型)の教習料金についても変更予定です。  
詳しくは、芽室自動車学校(Tel62-2226)迄お気軽に連絡ください!

芽室自動車学校からの重要なお知らせ

# 平成29年3月12日から改正道路交通法が施行 準中型自動車・準中型免許が新設！！

普通自動車・中型自動車・大型自動車に加えて、車両総重量3.5トン以上7.5トン未満等の自動車が「準中型自動車」となり「準中型免許」が新設されます。受験資格は、普通免許と同じ18歳以上で普通免許を受けていなくても取得可能です。



次回更新時まで、免許証の表記は3月11日以前に取得された方も、3月12日以降に取得された方も「普通」と表記されます。よって3月12日を境に乗車できる車両の範囲が制限されていますので、同じ免許表記でも新免許区分の乗車範囲を超えた車両を運転すると無免許運転となります。

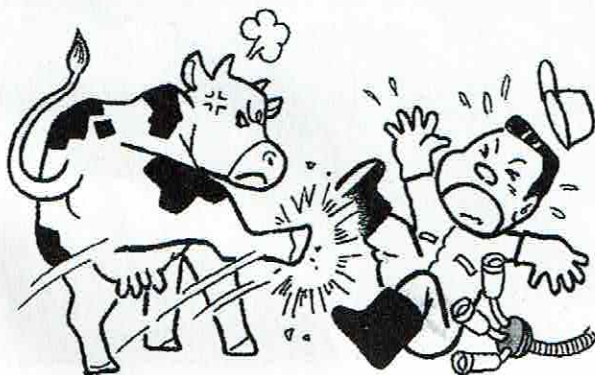
次のページにはもっと詳しく！！

発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 〒089-1792 中川郡幕別町忠類栄町二五九番地 電話 〇二五五八 八一三三二一

# 冬季型の事故に 注意を！

## 家畜の飼養管理では

- ▶家畜に近づく場合、人間の存在を知らせるよう前から近寄りましょう。
- ▶牛を驚かささないよう急な動作や、甲高い声を出さない。
- ▶通路上に不要物を置かず、凸凹や段差をなくす。
- ▶牛舎内を明るくする（足下がよく見えるように）。



## 機械による除雪作業では

- ▶機械を前進・後退させる時は、周囲に人がいないことを確認しましょう。
- ▶物陰や雪山の陰から突然人が出てこないか注意しましょう。
- ▶側溝や路肩等を確認し、転落・転倒事故に注意を。
- ▶機械の点検、雑物除去作業は、必ずエンジンを停止してから。

これからは、家畜飼養や機械の修理・整備作業、除雪作業時などの冬季型事故に注意しましょう。



## 機械の修理・整備では

- ▶安全な服装(安全靴・帽子、手袋)で作業をしましょう。
- ▶機械をジャッキアップした場合は、落下防止台を施しましょう。
- ▶溶接やグラインダーなどの作業をする場合は、防護メガネ・安全靴・皮手袋などの着用を。

冬の道路は危険がいっぱい  
交通事故にも気をつけて